

市長定例記者会見資料



令和3年11月25日	
所 属	都市政策課
所属長	西川 欣伸
電 話	06-6489-6138

市長公約の進捗状況を公表します～稲村市政3期目3年目の取組～

1 趣旨

平成30年12月から稲村市政3期目を迎え、3年が経過します。

市政3期目の4つの公約とその公約の実現に向けた14の個別項目について3年目の進捗状況を公表します。

2 進捗状況

市政3期目の4つの公約に係る進捗状況は次のとおりです。

14の個別項目に係る状況については、別紙「稲村市政3期目公約整理表」を参照ください。

項 目	目 標	2年目	現在値 (3年目)	進捗状況
1. ファミリー世帯が住みやすいまちをつくれます！ ファミリー世帯の定住転入を促進します！	ファミリー世帯の 転出超過世帯数半減 (令和4年に191世帯)	292世帯 (令和元年)	299世帯 (令和2年)	→ 【現状のまま推移】
2. 安心して年齢を重ねられるまちを目指します！ 平均寿命だけでなく、健康寿命を延ばします！ ※健康寿命：自立して日常生活を送れる期間	平均寿命の増加分を 上回る健康寿命の増加 (令和4年)	男性△1.60歳 【78.44歳】 女性△3.46歳 【83.46歳】 (平成30年)	男性△1.57歳 【78.48歳】 女性△3.59歳 【83.72歳】 (令和元年)	→ 【現状のまま推移】
3. 地域を元気に！このまちで学び、活躍する人を増やします！ 「地域活動への参加度」、「尼崎を推奨する意欲」、「支え手への感謝」の3つを数値化したシティプロモーション評価指標を向上させます！	「市民参画指数※」の増加 (令和4年度に50.6) ※「地域推奨意欲」 「地域活動意欲」「地域活動感謝意欲」の平均	43.5 (令和元年度)	43.1 (令和2年度)	→ 【現状のまま推移】
4. 未来に責任！財政改革をやり遂げます！ 市債残高を令和4年度には1,100億円以下 (阪神淡路大震災前の水準)に！ 基金(貯金)を崩さず毎年度収支均衡を確保します！	借金(市債残高)を減らしている (令和4年度に1,100億円以下)	1,263億円 (令和元年度)	1,170億円 (令和2年度)	↑ 【改善】
	収支を黒字にできている (令和4年度に収支均衡)	21.3億円 (令和元年度)	38.0億円 (令和2年度)	↑ 【改善】

3 総評

1つ目の公約の実現に向けては、ファミリー世帯の転出超過数が299世帯と、前年より7世帯増加し、2年連続で目標から遠ざかる結果となりましたが、市外へ転出する世帯については、853世帯と調査を開始した平成26年から6年連続で減少しています。また、市民意識調査においても、本市のイメージがよくなったと回答する市民の割合は引き続き5割を超える高水準を維持しており、その理由としては駅前周辺がきれいに整備されるなどまちの景観がよくなったことが大きな要因となっています。

2つ目の健康寿命の増加や3つ目の市民参画指数に関する公約については、コロナ禍で活動が制限されたことも影響し、いずれもほぼ横ばいの進捗状況となっています。

さらに、4つ目の公約である市財政においては、コロナ禍で先行きの不透明感が高まる中、国の財政支援による財源確保に加えて、4.9億円の構造改善による行財政改革計画後半目標15億円の達成、市債の早期償還による将来負担の抑制を行うなど今後を見据えた財政運営を行うことができ、公約達成に近づいています。

今後も行財政改革に取り組みながら、阪急塚口駅南駅前広場の整備や阪神タイガースファーム施設の誘致などの機を捉えて、エリアごとのブランディングを推進するとともに、その魅力をより効果的に発信できる広報媒体の選択など、魅力の創造と発信を一体的に進め、公約達成に向けて取り組んでまいります。

※前記公約のほか、次の3つのプロジェクトについて取組を進めています。

■旧大学跡地を活用した「ひと咲きプラザ」の整備

・令和3年度からあまがさき・ひと咲きプラザ内へ県の児童相談所「尼崎こども家庭センター」が設置されました。引き続き、本市独自の児童相談所設置に向け、検討を進めてまいります。

■尼崎城を核とした観光地域づくり

・コロナ禍で観光客入込客数は大幅に減少しましたが、感染症収束後の観光客の回復を図る取組として、令和4年3月に、現代アートを融合させたまち歩きイベント「あまがさきアート・ストロール～Produced By 六甲ミーツ・アート芸術散歩～」を開催します。令和元年度に続いて2回目となる今回は、企業版ふるさと納税の寄附金を活用した取組となっています。

■地域力を支える体制づくり

・令和3年度より、公営・民営を問わず、さまざまな分野の幅広い地域情報を掲載する「尼崎市地域情報共有サイトあましえあ」を導入しました。市民サービスの向上を図るとともに、地域住民や地域活動の担い手、関係部局等との情報共有を推進し、引き続き地域担当職員等による新たな地域課題の抽出や幅広い地域活動の支援を進めてまいります。

以上

1. ファミリー世帯が住みやすいまちをつくります！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目（平成30年12月～）の進捗状況			備考	
		1年目	2年目	3年目		
ファミリー世帯の定住転入を促進します！	ファミリー世帯の転出超過世帯数半減	↑	↓	→	【ファミリー世帯の転出超過世帯数】 平成29年：272世帯 平成30年：257世帯 令和元年：292世帯 令和2年：299世帯 (目標値：令和4年 191世帯)	
公約の個別項目						
1	『学力向上』 「ほぼ全国平均」→「個々の確かな学力の向上」による「全国平均超」へ！	全国平均超え	→	—	↑	【全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との差】 平成30年度：△1～△4 令和元年度：△1～△4 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和3年度：0～△4 ・小学校の算数については全国平均に達し、国語についても全国との差が縮小 ・授業の質的改善及び基礎学力向上を図るため、令和3年3月に「授業デザイン 3つの視点」（中学校版学力向上の手引き）を策定
2	『学校の空調整備』 学習環境の向上はもちろん、学校を地域の拠点に！	地域開放校の拡大	→	→	↑	【地域開放校】 平成30年度：6校 令和元年度：6校 令和2年度：6校 令和3年度：41校 ・令和2年度から全小学校に地域学校協働本部が設置されたことを受け、地域開放を地域学校協働本部による学校支援活動の一つと位置付け、小学校全校に展開
3	『中学校給食』 センター方式による令和4年一斉スタートに向けて全力で取組みます！	任期中にスタート	↑	↑	↑	・令和4年1月からの中学校給食開始
4	『待機児童対策』 早期解消を目指し、受入れ枠の拡大に取り組んでいます！	待機児童ゼロ	→	↓	→	【保育施設待機児童数】 平成30年4月時点：156人 平成31年4月時点：148人 令和2年4月時点：236人 令和3年4月時点：118人※ ※保育所の新設等により保育の量を確保したとともに、国の考え方を踏まえ、待機児童から除かれる対象範囲を整理した。 ・令和3年4月に向けた入所利用調整業務においてAIを導入し、業務の効率化や精度を高めたことにより38人の未入所児童が減少
5	『こども医療費助成』 財源確保に取組み、充実を目指します！	拡充	↑	→	→	・令和元年7月1日より、乳幼児等医療費助成の未就学児（1～6歳児）の所得制限を撤廃し、こども医療費の自己負担を軽減 ・更なる拡充について今後検討

2. 安心して年齢を重ねられるまちを目指します！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目（平成30年12月～）の進捗状況			備考
		1年目	2年目	3年目	
<p>平均寿命だけでなく、健康寿命を伸ばします！ ※健康寿命：自立して日常生活を送れる期間</p> <p></p>	<p>平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加</p>	↑	→	→	<p>【平均寿命－健康寿命】 平成28年：男性△1.71歳（78.29歳）、女性△3.53歳（83.04歳） 平成29年：男性△1.54歳（78.00歳）、女性△3.44歳（83.02歳） 平成30年：男性△1.60歳（78.44歳）、女性△3.46歳（83.46歳） 令和元年：男性△1.57歳（78.48歳）、女性△3.59歳（83.22歳） ※（ ）内は健康寿命</p>
公約の個別項目					
<p>6 認知症対策、介護予防をさらに推進し、生きがいをもって暮らす高齢者（市民アンケートによる回答）を増やします。</p> <p></p>	<p>生きがいを持つ高齢者の割合の目標値達成</p>	↑	↑	↓	<p>【生きがいを持つ高齢者の割合】 平成29年度：59.2% 平成30年度：64.3% 令和元年度：66.2% 令和2年度：61.5% （目標値：令和4年度 75.9%）</p> <p>・シニア情報ステーションを薬局やスーパー、金融機関等約150か所に設置するとともに、介護予防活動等、地域資源の見える化のため「尼崎市シニア元気UPパンフレット」を発行し、同ステーションに設置</p>
<p>7 災害時要援護者支援の基盤になる市内全域の見守り活動の実施を目指して、支援体制の充実に取組みます。</p>	<p>市内全域で見守り活動実施</p>	→	→	→	<p>【高齢者等見守り活動地域】 （社会福祉連絡協議会圏域） 平成30年度：43地区/75地区 令和元年度：45地区/75地区 令和2年度：46地区/75地区 令和3年度：48地区/75地区 ※令和3年度に新たに2地区立ち上がり</p> <p>・令和3年2月に、見守り名簿と避難行動要支援者名簿を一体的に管理・運用する「要支援者システム」を各地域振興センター等に設置</p>
<p>8 老朽化している休日夜間急病診療所の建替えに取組みます。</p>	<p>建替え計画の具体化</p>	→	→	↑	<p>・市役所第2駐車場及び職員臨時駐輪場の敷地を活用し、令和7年度の開設に向けて調整中</p>

 =特にコロナの影響があるもの

3. 地域を元気に！このまちで学び、活躍する人を増やします！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目（平成30年12月～）の進捗状況			備考	
		1年目	2年目	3年目		
「地域活動への参加度」、「尼崎を推奨する意欲」、「支え手への感謝」の3つを数値化したシティプロモーション評価指標を向上させます！ 	「市民参画指数」の増加	↑	↑	→	【市民参画指数※】 平成29年度：39.0 平成30年度：42.8 令和元年度：43.5 令和2年度：43.1 ※「地域推奨意欲」「地域活動意欲」「地域活動感謝意欲」の平均	
公約の個別項目						
9	みんなの尼崎大学やサマーセミナーなど、市民の学びが広がる取組をさらに進めます。 	取組の拡大	↑	→	→	・「みんなのサマーセミナー」 平成30年度：約320講座、6,000人 令和元年度：約340講座、6,300人 令和2年度：最大約100人（「オンラインサマセミ」におけるZoom及びYouTubeの最大接続者数） 令和3年度：44講座、最大111人（「オンラインサマセミ」におけるZoom及びYouTubeの最大接続者数） ※令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地での開催を中止し、「オンラインサマセミ」を開催
10	市内企業との連携で、長期実践型インターンシップの受け入れや起業支援を推進！中高生の社会力向上、経験型学習もさらに進めます。 	取組の拡大	→	→	→	・近隣企業と連携したマーケティング等の実践的な学習を行うなど、実際の社会で役立てる力を育む「課題解決型学習」を市立3高校で実施 ・長期実践型インターンシップ実績 平成30年度：受け入れ企業5社、参加大学生9人 令和元年度：受け入れ企業5社、参加大学生8人 令和2年度：受け入れ企業4社、参加大学生9人 令和3年度：受け入れ企業4社、参加大学生9人（令和3年10月30日時点） ※令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新たな試みとしてオンラインを活用したりリモート型インターンシップに取り組んでいる。
11	尼崎のまちの魅力や先進的な取組、防災情報などを発信するための広報機能を強化します。	あまらぶ指数の目標値達成	—	→	→	・「尼崎らしさ」を写真で表現したブランドブックを発行し、令和3年7月には尼崎市ブランドブック写真展を開催し、マスメディアにも多数露出 【あまらぶ指数】 市民参画指数（地域推奨意欲、地域活動意欲、地域活動感謝意欲）と、市外在住の方の尼崎をおすすめしたいという思いを総合的に数値化したもの 平成30年度：37.7 令和元年度：37.7 令和2年度：37.7 （目標値：令和4年度 46.5）

 =特にコロナの影響があるもの

4. 未来に責任！財政改革をやり遂げます！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目（平成30年12月～）の進捗状況			備考	
		1年目	2年目	3年目		
市債残高を令和4年度には1,100億円以下（阪神淡路大震災前の水準）に！ 基金（貯金）を崩さず、毎年度収支均衡を確保します！ 	借金（市債残高）を減らせている	↑	↑	↑	【市債残高】 平成29年度：1,492億円 平成30年度：1,399億円 令和元年度：1,263億円 令和2年度：1,170億円 （目標値：令和4年度 1,100億円以下）	
	収支を黒字にできている	↑	→	↑	【財政収支】 平成29年度：△2.0億円 平成30年度：26.0億円 令和元年度：21.3億円 令和2年度：38.0億円 （目標値：令和4年度 収支均衡）	
公約の個別項目						
12	借金の縮減、収支の均衡、基金積立のバランスを図る財政規律を明確化。必要な投資と財政規律を両立させ、未来にツケは回しません。 	財政規律・財政目標の達成	↑	↑	↑	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度当初予算における実質的な収支均衡には至らなかったものの、4.9億円の構造改善効果額を計上し、行財政改革計画あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト後半の目標15億円を達成 ・市債の早期償還により将来負担を抑制
13	引き続き、現役世代の定住転入促進や産業振興、市税収入率の向上などによる税源の確保に取り組めます。	個人市民税収入率の目標値達成	↑	↑	↑	【個人市民税収入率】 平成29年度：92.7% 平成30年度：93.5% 令和元年度：94.4% 令和2年度：94.9% （目標値：令和4年度 95.0%） ・令和2年度決算において、法人市民税は、税制改正により法人市民税率が引き下げられ、対前年度比で約16億円の減となったが、個人市民税については、納税義務者の増により、対前年度比で約4億円の増
14	公共施設マネジメントでは、施設の再編だけでなく、適正な管理による施設の長寿命化と費用が特定の年に偏らないように取り組めます。	計画通り進捗	→	→	→	・「公共施設マネジメント計画」における「第1次保全計画」に基づき、サンシビック尼崎の長寿命化改修に続いて、北部防災センターについて改修工事に係る実施設計に着手